



女性協議会

MIC女性連絡会春の学習会 メディアの職場から問う メディアのあり方を問う

最近、マスコミのあり方
に対して視聴者や読者、市
民団体から批判があるこ
とが多くなった。そこで今
年のMIC女性連絡会・春
の学習会は、メディアの職
場から、メディアのあり方
を問うと題し、いろいろな
困難もある中で奮闘してい
る、NHKエンタープライ
ズエグゼクティブプロデュ
サーの池田理恵子さんを
講師に迎え、メディアで働
く私たちが考えてみるこ
とを企画(三〇人が参加し
た)。池田さんはジャーナ
リストの志をもつて1973
年、NHKに入局、以来常
に社会と向き合ってきた。エ
アス、アジアと太平洋戦
争、慰安婦問題、東ティモ
ールの問題など、重要なテ
マで番組制作を手がけてき
た。「再び世界は戦争の時
代に突入し、マスメディア
の責任と役割が肥大する二
方で、メディア

内部の閉
塞状況は強
まってい
る。メデ
アの民主
化が急務だ
が、相互批
判、情報公
開などをど
う進めるか
」と提起
した。
理不尽な
ことへの怒
りのエネ



パネルディスカッションの様子

ギーを番組の活力にし、
どうやって放送できるか
たかいたから仕事を続け
てきた池田さんは、慰安婦
問題などを粘り粘りにつ
て、四年かけて海外
の被害者の声も放送した。
しかし、圧力にもチームは
解散、自身も出向すること
になった。その中、NGOで
自主制作する活動も起こ

し、海外のビデオジャーナ
リストと連携して可能性を
広げている。
また、池田さんが尊敬す
るジャーナリストの故松井
やよきさんにも触れ、「女
性国際戦犯法廷」の実現の
ためにも取り組んだこと
と、それをNHKが改ざん
して放送したことをめぐり

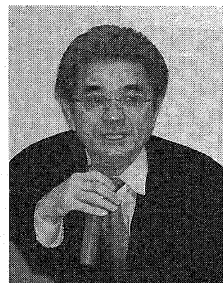
訴訟となったことを語っ
た。「負け犬の遠吠えかも
しれませんが、吠え続ける
ために戦ってきたこと」
と語り、池田さんの志の高
さに胸を打たれた。
後半は、明珍美紀新聞労
連委員長と神内美香子民放
労連女性協議会代表を交えて
のパネルディスカッション
を行った。時間不足の感は
否めないが、次回へのステ
ップとなった。

今回の学習会で池田さん
の仕事への姿勢に私たちは
励まされ元気づけられた。
もっと多くの人に聞いては
しいと思ひ、このような機
会を設けていくことを確認
した。

ある？ない？情報操作 今問われているマスメディアの役割

4月3日(大阪)、「あ
る？ない？情報操作」今問
われているマスメディアの
役割」一題で講演会が、
「放送と女性ネットワーク」
一題でNHKの主催で開かれ
四〇人が参加した。

講師の同志社大学教授浅野健一氏



「先生、呼ば
ないで、健ちゃんと呼ん
で」
と、はじめ
から気さく
な浅野氏
に、会場は
リラックス
した雰囲気
に生まれ
変わった。

講演は、
「人権と報道被害について」
と題して、最
後に、最終調整段階の
「女性協会のホームページ」
のテスト版が紹介された。
現状では、頻りに会合を持
てない女性協会のメンバーが、
このサイトを通して、効率
的かつタイムリーに意見交
換や情報収集できるネット

「権力とメディア」「週
刊文藝」の出版差し止め問
題」インターネットの活
用について、なご多岐にわ
った。

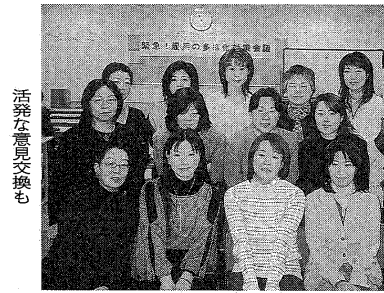
浅野氏の著書には、報道
被害について書いたものも
多く、松本サリン事件の河
野義行さんとの共著もある。
「報道被害者の救済、
上」が上っていた。

「権力とメディア」「週
刊文藝」の出版差し止め問
題」インターネットの活
用について、なご多岐にわ
った。

また、報道被害をなすた
めに市民参加型の報道評議
会制度を提唱した。
そのほか、イフク派兵を
批判せず、政府の嘘を追及
し、一時間近く延長して
講演会を終了した。

課題の改善を目指す 拡大常任委員会開かれる

3月6日
に東京・麹
町で女性協
会が、女性
協会の常任
委員会が行
われ、五地
連、一支部
連、女性協
会本部から
一〇人が参
加した。



活発な意見交換も

的な取り組や成果、また
問題点について報告があ
った。取り組や要求内容は
多岐にわたったが、その中
で特に目立った成果を挙げ
たのは、札幌テレビの看護
有給休暇制度の新設、読売
テレビの女性優先休職室利
用の一定時間確保、また毎
日放送の介護勤務期間の延
長(一年から二年)等が
あげられる。一方、各地連
とも固有の課題を数多く抱
えており、引き続き春開で
改善要求を提出することに
議した。

近畿で開催予定の「全国女
性の集い」についても、現
状や今後の課題について討
議した。

訴えとなったことを語っ
た。「負け犬の遠吠えかも
しれませんが、吠え続ける
ために戦ってきたこと」
と語り、池田さんの志の高
さに胸を打たれた。
後半は、明珍美紀新聞労
連委員長と神内美香子民放
労連女性協議会代表を交えて
のパネルディスカッション
を行った。時間不足の感は
否めないが、次回へのステ
ップとなった。

今回の学習会で池田さん
の仕事への姿勢に私たちは
励まされ元気づけられた。
もっと多くの人に聞いては
しいと思ひ、このような機
会を設けていくことを確認
した。

「先生、呼ば
ないで、健ちゃんと呼ん
で」
と、はじめ
から気さく
な浅野氏
に、会場は
リラックス
した雰囲気
に生まれ
変わった。

講演は、
「人権と報道被害について」
と題して、最
後に、最終調整段階の
「女性協会のホームページ」
のテスト版が紹介された。
現状では、頻りに会合を持
てない女性協会のメンバーが、
このサイトを通して、効率
的かつタイムリーに意見交
換や情報収集できるネット

「権力とメディア」「週
刊文藝」の出版差し止め問
題」インターネットの活
用について、なご多岐にわ
った。

また、報道被害をなすた
めに市民参加型の報道評議
会制度を提唱した。
そのほか、イフク派兵を
批判せず、政府の嘘を追及
し、一時間近く延長して
講演会を終了した。

第41回 民放労連全国女性の集い 京近江へおこしやす！ 琵琶湖畔の温泉でほっこり！

日時 6月5日(土)～6日(日)
場所 琵琶湖グランドホテル
参加費 全日程 23,000円
1日目 13,000円
2日目 5,000円

講師 姿月あさこさん(一日目)
*元宝塚歌劇トップスター
砂田登志子さん(二日目)
*元ニューヨークタイムズ記者

◆◆各地連参加目標◆◆			
北海道	5名	中四国	25名
東北	12名	九州	23名
関東	40名	沖縄	5名
北信越	12名	東京支部連	5名
東海	8名	本部	15名
近畿	70名		
		合計	220名

全国女性の集い 注目の 分科会は？

(予定)

1. セクシャルハラスメントについて(石田幸子氏)
2. 女性差別問題について(WWN代表正路幸子さん)
3. 育児と仕事(読売テレビ、朝日放送労組)
4. スローライフについて(なん？/大阪経済大学教員伊田広行さん)
5. 職場のセクシャルハラスメントをなくすために(アフリター・ジンダ)
6. 女性差別問題について(京都生まれの京都府、京都芸妓が語る(京都芸妓あまこさん)
7. 平和/西見井護士
8. 労働組合とは(近畿地連)
9. デジタル化/近畿地連

また、報道被害をなすた
めに市民参加型の報道評議
会制度を提唱した。
そのほか、イフク派兵を
批判せず、政府の嘘を追及
し、一時間近く延長して
講演会を終了した。